

## HQ125対応防火措置工法



古河テクノマテリアル製ヒートメルサイレンスCOREを用いた防火措置工法は、区画貫通部の耐火性能と個体伝播音の低減が図れる工法です。

上記は、平成19年4月1日から施行される「消防庁告示第4号」に定められた耐火性能(特定共同住宅等の住戸等の床又は壁並びに当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能)を財団法人 建材試験センターで試験し、国土交通大臣認定(PS060FL-0333)および財団法人 日本消防設備安全センター評定(KK19-110号)を取得しました。

以下に評定の仕様を示します。

●消防庁告示第4号の詳細は下記をご覧ください。

<http://www.fdma.go.jp/html/public/iken/pdf/050217-4.pdf>

### ●評定の仕様

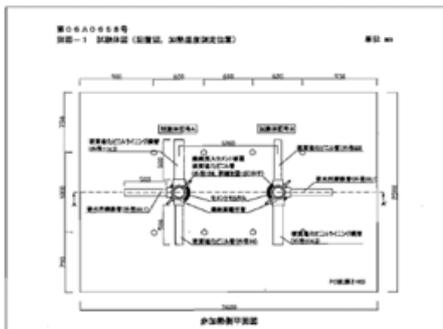
●ヒートメルサイレンス技術資料・施工要領書  
 FT資料 第0146D号 抜粋  
 (クリックするとPDFが開きます。)

●HQ-K 125×100-80-80

・HQ125(胴径φ180)に対応可能です。  
 ・スリーブ孔径φ260以下に対応可能です。  
 ・スラブ厚 180mm以上に対応可能です。

#### 5. 耐火性能

下図試験体(代表例)に対して、(財)建材試験センターにて1時間の耐火性能評価試験を実施し、国土交通大臣認定および(財)日本消防設備安全センター評定を取得しています。



国土交通大臣認定 PS060FL-0333 (125A 以下対応)

(財)日本消防設備安全センター評定(評12-078号)対応

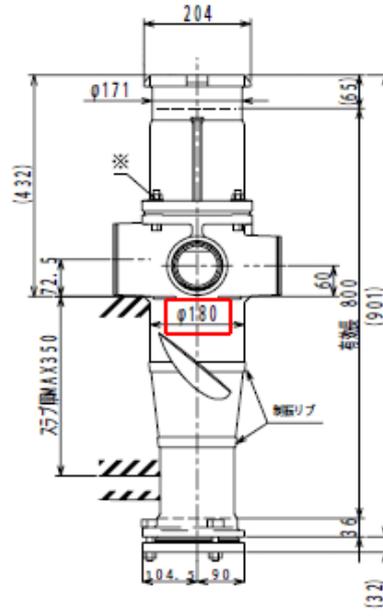
管種	最大径	最大開口サイズ	最小床厚さ
● 鋳鉄製管継手	180mm	φ260	180mm
● 鋳鉄管	140mm	φ182	
● DVLP	139.8mm		
● ステンレス鋼管	139.8mm		
● 耐火二層管	156mm		

国土交通大臣認定 PS060FL-9065

(財)日本消防設備安全センター評定(評12-052号)対応

管種	最大径	最大開口サイズ	最小床厚さ
● 鋳鉄製管継手	170mm	φ260	140mm
● DVLP	114mm	φ210	
● ステンレス鋼管	99mm	φ160	

△注 註 (財)日本消防設備安全センター評定に関しては、2007年4月に繰り替わり、評12-078号のみとなります。



・ヒートメルサイレンスを巻き、スラブ貫通させることができる管種が以下の通り増えました。

(●鋳鉄管, DVLP, ステンレス鋼管, ●耐火二層管)

最新版 : <http://www.kojima-core.co.jp/report.html>  
 バックナンバー : <http://www.kojima-core.co.jp/backnumber.html>  
 e-mail : [kojima@kojima-core.co.jp](mailto:kojima@kojima-core.co.jp)

●国土交通大臣認定:PS060FL-0333

●(財)日本消防設備安全センター評定:KK19-110号

国土交通大臣認定 PS060FL-0333



別記様式

発行番号 10-3149号

### 性能評定書

設備機器の種別	防火材等(共住区画貫通配管等)
型式記号	ヒートスルーサイレンス
住 所	神奈川県平塚市家八幡5-1-8
申 請 者 名 称	株式会社古河テクノマテリアル
代表者氏名	代表取締役社長 中村 信之
性能評定番号	KK19-110号
性能評定日	平成19年4月1日
性能評定の内容	標記共住区画貫通配管等は、評定報告記載の評定条件の範囲内で使用する場合において、「特定共同住宅等の住戸等の床又は壁及び当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件」(平成17年消防庁告示第4号)に規定する耐火性能を有するものと認められる。 対象:床

本設備機器は、財団法人日本消防設備安全センターの定める消防設備見用設備機器性能評定規程第5条の規定に基づき、厳正なる試験を行った結果、上記の性能を有するものと認めます。

なお、本性能評定書の有効期限は、平成25年3月31日です。

財団法人日本消防設備安全センター  
理事長 長 洋 純

## ●キーワード検索

hp技術レポート「キーワード検索版」の見出しの一覧表です。新たに「更新」を追加しました。

New

### ●更新

- |        |                   |        |        |                |
|--------|-------------------|--------|--------|----------------|
| ●超高層   | ●パッキン             | ●騒音・振動 | ●泡     | ●ディスプレイ        |
| ●排水立て管 | ●施工にかかわる<br>検査・保守 | ●オフセット | ●SI住宅  | ●トラブル&<br>ご注意! |
| ●排水横主管 | ●製品にかかわる<br>検査    | ●排水金具  | ●リフォーム | ●学会<br>協会規格    |
| ●排水横枝管 | ●通気管              | ●トラップ  | ●施工方法  | ●その他           |